

保健医学講座

Welfare Promotion and Epidemiology

准教授 関根 道和 Michikazu Sekine
助 教 濱田 仁 Jin Hamada
助 教 立瀬 剛志 Takashi Tatsuse

◆ 著 書

- 1) 関根道和 (翻訳): 「疫学辞典 第5版」重松逸造, 青木国雄翻訳顧問, Miquel Porta 編 A Dictionary of Epidemiology 5th Edition, International Epidemiological Association, Oxford University Press, 2008, 日本公衆衛生協会, 東京, 2010.
- 2) 関根道和: 睡眠と小中高生の行動. 「小児科臨床ピクシス 14 睡眠関連病態」五十嵐 隆総編集, 142-145, 中山書店, 東京, 2010.

◆ 原 著

- 1) Sekine M., Chandola T., Martikainen P., Marmot M., Kagamimori S.: Sex differences in physical and mental functioning of Japanese civil servants: explanations from work and family characteristics. *Soc Sci Med*, 71: 2091-2099, 2010.
- 2) Lallukka T., Chandola T., Roos E., Cable N., Sekine M., Kagamimori S., Tatsuse T., Marmot M., Lahelma E.: Work-family conflicts and health behaviors among British, Finnish, and Japanese employees. *Int J Behav Med*, 17: 134-142, 2010.
- 3) Lahelma E., Lallukka T., Laaksonen M., Martikainen P., Rahkonen O., Chandola T., Head J., Marmot M., Kagamimori S., Tatsuse T., Sekine M.: Social class differences in health behaviours among employees from Britain, Finland and Japan: the influence of psychosocial factors. *Health Place*, 16: 61-70, 2010.
- 4) 濱田 仁, 木村光子, 村岡大祐: 御竈神社の藻塩焼神事とアカモク. *藻類*, 58: 133-137, 2010.
- 5) 高松詩織, 関根道和, 立瀬剛志, 鏡森定信: 地方公務員における飲酒パターンと睡眠の質. *産業衛生学雑誌*, 52: 1-11, 2010.

◆ 学会報告

- 1) Sekine M., Tatsuse T., Hu LZ., Hamanishi S.: Associations of family structure with educational opportunity, lifestyle factors and health of Japanese children. The Joint Scientific Meeting of the International Epidemiological Association Western Pacific Region and the Japan Epidemiological Association, 2010, 1, 9-10, Saitama.
- 2) Hamanishi S., Sekine M., Tatsuse T., Hu L.: Relationship between sleep quality and quality of life (QOL) in Japanese school-children: Cross sectional study. The Joint Scientific Meeting of the International Epidemiological Association Western Pacific Region and the Japan Epidemiological Association, 2010, 1, 9-10, Saitama.
- 3) Sekine M., Tatsuse T.: Associations of sleep quality with physical and mental health of Japanese civil servants. The 18th European Congress of Psychiatry, 2010, 2, 27-3, 3, Munich, Germany.
- 4) Sekine M., Tatsuse T.: Associations of smoking, exercise, and alcohol drinking with poor sleep quality of Japanese civil servants. The 18th European Congress of Psychiatry, 2010, 2, 27-3, 3, Munich, Germany.
- 5) Hamanishi S., Sekine M., Hu L., Tatsuse T.: Relationship between sleep quality and quality of life (QOL) in Japanese school-children: Cross-sectional study in Japanese school-children. World Congress of Cardiology, Scientific Session 2010, 2010, 6, 16-19, Beijing, China.
- 6) 胡 莉珍, 関根道和, 立瀬剛志, 鏡森定信: 地方公務員における喫煙と睡眠の質との関連. 第20回日本疫学会学術総会, 2010, 1, 9-10, 埼玉.
- 7) 立瀬剛志, 関根道和: 現代における不健康な生活習慣の検討. 第20回日本疫学会学術総会, 2010, 1, 9-10, 埼玉.
- 8) 関根道和, 立瀬剛志: 研修医新規採用数の都道府県間格差の推移 (平成15年から21年). 第44回富山県公衆衛生学会, 2010, 2, 4, 富山.
- 9) 胡 莉珍, 立瀬剛志, 関根道和: 生活習慣と慢性疾患との関連. 第44回富山県公衆衛生学会, 2010, 2, 4, 富山.
- 10) 胡 莉珍, 関根道和, 立瀬剛志: 地方公務員の総合的健康習慣と睡眠の質との関連. 日本睡眠学会第35回定期学術集会, 2010, 7, 1-2, 名古屋.
- 11) 立瀬剛志, 胡 莉珍, 関根道和: 7つの飲酒パターンと各睡眠状態との関連. 日本睡眠学会第35回定期学術集会,

2010, 7, 1-2, 名古屋.

- 12) 濱西島子, 関根道和, 胡 莉珍, 立瀬剛志: 富山県の中学生の睡眠習慣. 第 49 回富山県小児保健学会 シンポジウム, 2010, 10, 3, 富山.
- 13) 濱西島子, 関根道和, 胡 莉珍, 立瀬剛志: 中学生における睡眠と生活の質 (QOL) の関連—就寝時刻との検討から— 第 69 回日本公衆衛生学会総会, 2010, 10, 27-29, 東京.
- 14) 立瀬剛志, 関根道和, 濱西島子: 職務特性のメンタルヘルスへの影響における職務満足の役割. 第 69 回日本公衆衛生学会総会, 2010, 10, 27-29, 東京.
- 15) 関根道和, 立瀬剛志: 新医師臨床研修制度下における人口 10 万人対研修医新規採用数の都道府県間格差の推移. 第 69 回日本公衆衛生学会総会, 2010, 10, 27-29, 東京.

◆ その他

- 1) 関根道和:(依頼原稿)「格差社会と子どもの生活習慣・教育機会・健康—社会の絆で格差の連鎖から子どもを守る—」特集 2 社会格差の広がり子どもの健康, 学術の動向, 4: 82-87, 日本学術協力財団, 東京, 2010.
- 2) 関根道和:(新聞記事)「研修医の新規採用数. 人口 10 万人比. 卒後臨床研修導入後. 都道府県格差 4 倍に縮小. 富大・関根准教授が調査. 都市の魅力, 動向左右」 富山新聞, 27 頁, 2010, 1, 5.
- 3) 関根道和:(依頼原稿)「社会の健康を求めて」 ハロー先輩 TOMS PRESS(富山大学広報誌), 2010 年冬号(VOL11), 14 頁.
- 4) 関根道和:(雑誌記事)「寝る子は育ち, 寝ぬ子は太る—早起き早寝の大切さ—」 少年写真新聞社 ほけんニュース, 1 頁, 2010, 4, 8. (第 314 号)
- 5) 関根道和:(雑誌記事)「子どもの健康に格差の連鎖」(小川明著「JMS Report 心身の不調もたらす不眠 健康に眠りは欠かせない 名古屋で日本睡眠学会」) JMS(Japan Medical Society), 8: 57-61, 2010.
- 6) 関根道和:(新聞記事)「ティーンズ・ランキン—つい夜更かし「もう寝なさい」—」 日本経済新聞, NIKKEI プラス 1, 3 頁, 2010, 6, 5.
- 7) 関根道和:(新聞記事)「7 時起床 欠食 孤食防ぐ. 小 4 時, 前夜 9 時半就寝必要, 1 万人を追跡調査, 理にかなう「早寝・早起き・朝ごはん」 富山新聞, 35 頁, 2010, 6, 27.
- 8) 関根道和:(新聞記事)「経済格差による健康への悪影響 子ども世代に“連鎖” ひとり親世帯頭痛多く 関根富山大准教授ら調査」 北日本新聞, 2010, 8, 14. (共同通信社配信記事)
- 9) 関根道和:(新聞記事)「子どもの健康に格差の連鎖 きずな強めれば改善も 中学生の 1 万人調査で確認」 神奈川新聞, 15 頁, 2010, 8, 16. (共同通信社配信記事)
- 10) 関根道和:(新聞記事)「子どもの健康に格差影響 富山大准教授ら 1 万人調査 朝食抜き, 頭痛, 肥満…ひとり親世帯で顕著」 新潟日報, 16 頁, 2010, 8, 16. (共同通信社配信記事)
- 11) 関根道和:(新聞記事)「子どもの健康 格差の連鎖 —中学生 1 万人 世帯構成別調査で判明 「社会のきずな」改善の鍵に」 中国新聞, 19 頁, 2010, 8, 18. (共同通信社配信記事)
- 12) 関根道和:(新聞記事)「子どもの健康に「格差」影響 富山の中学生 1 万人調査 きずな強めれば改善も」 山陰中央日報, 8 頁, 2010, 8, 19. (共同通信社配信記事)
- 13) 関根道和:(新聞記事)「社会, 経済的格差が影響 健康悪化 子どもに波及 ひとり親世帯顕著 きずな構築で改善の可能性」 宮崎日日新聞, 10 頁, 2010, 8, 20. (共同通信社配信記事)
- 14) 関根道和:(新聞記事)「健康にも格差連鎖 富山の中学生 1 万人調査 「社会的きずな」で改善を」 下野新聞, 19 頁, 2010, 8, 21. (共同通信社配信記事)
- 15) 関根道和:(新聞記事)「拡大する社会的・経済的格差 子どもの健康にも影響 富山県の中学生 1 万人調査 ひとり親世帯で高肥満率」 徳島新聞, 13 頁, 2010, 8, 22. (共同通信社配信記事)
- 16) 関根道和:(新聞記事)「子どもの健康に格差影響 中学生 1 万人を調査 ひとり親世帯で「乱れ」増加 きずな強めて改善」 長崎新聞, 18 頁, 2010, 8, 23. (共同通信社配信記事)
- 17) 関根道和:(新聞記事)「子どもの健康状態に格差の連鎖 朝食抜き, 肥満…目立つひとり親世帯 中学生 1 万人調査で確認 周りとの「きずな」強いと改善」 神戸新聞, 12 頁, 2010, 8, 23. (共同通信社配信記事)
- 18) 関根道和:(新聞記事)「子の健康にも「格差」 富山大関根准教授 中学生対象に調査 きずな強めれば改善可能」 沖縄タイムス, 16 頁, 2010, 8, 24. (共同通信社配信記事)
- 19) 関根道和:(新聞記事)「子どもの健康に格差の連鎖 きずな強めれば改善できる」 千葉日報, 9 頁, 2010, 8, 22. (共同通信社配信記事)

- 20) 関根道和：(新聞記事)「子どもの健康に格差の連鎖 中学生 1 万人調査で確認 きずな強めれば改善できる」 中部経済新聞, 13 頁, 2010, 9, 2. (共同通信社配信記事)
- 21) 関根道和：(雑誌記事) 社長はヒラよりも長生き? (「選択肢が多いほど売れるはウソだった! 米有名教授が解き明かした「選択の秘密」」記事内の階層間格差に関するコメント). 週刊文春. 43-45, 2010, 12, 9.
- 22) 関根道和：(研修講師)「心身の健康や生活習慣に関する学校保健データの分析と解釈」 平成 21 年度石川県教育センター研修講座, 平成 21 年度学校保健指導者研修会 (石川県学校保健会共催事業), 2010, 1, 22, 石川.
- 23) 関根道和：(講演)「ユニバーサルデザインを目指した授業展開に関する教科研究—睡眠からみた健康づくり: 望ましい生活習慣の確立を目指して」 富山県立志貴野高等学校 (文部科学省平成 21 年度高等学校における発達障害支援モデル事業), 2010, 1, 25, 富山.
- 24) 関根道和：(講演)「子どもの頃からの生活習慣病予防」 富山市立針原小学校育友会講演会 (富山市平成 21 年度保健・医療・福祉ネットワーク事業 (富山市北保健福祉センター, 富山市医師会)), 富山市立針原小学校, 2010, 2, 14, 富山.
- 25) 関根道和：(講演)「小児期の栄養・運動・睡眠と生活習慣病予防」 富山県国公立幼稚園 PTA 連絡協議会, 速星幼稚園, 2010, 2, 13, 富山.
- 26) 関根道和：(講演)「小児期からの生活習慣病予防—富山出生コホート研究」 久留米大学医学部小児科グランドラウンド講演, 2010, 5, 28, 福岡.
- 27) 関根道和：(講演)「生活習慣と健康」 朝日町立あさひ野小学校学校保健委員会「ぐっすりねようプロジェクト! ~テレビやゲームの時間を短くしよう~」(富山県教育委員会主催 子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業), 朝日町立あさひ野小学校, 2010, 7, 3, 富山.
- 28) 関根道和：(講演)「富山大学職員における労働負担度格差—過重労働防止対策に向けて—」 平成 22 年度安全衛生講習会, 富山大学, 2010, 7, 3, 富山.
- 29) 関根道和：(講演)「睡眠からみた健康づくり: 望ましい生活習慣の確立を目指して」 富山県立志貴野高等学校「健康を考える日」, 2010, 7, 5, 富山.
- 30) 関根道和：(講演)「学力と睡眠—「早寝・早起き・朝ごはん」で学力アップ—」 平成 22 年度入善町立入善西中学校健康講演会 (富山県教育委員会とやま型学力向上プログラム), 入善町立入善西中学校, 2010, 7, 5, 富山.
- 31) 関根道和：(講演)「睡眠の大切さ, 睡眠の質を高める方法について」 氷見市立上庄小学校学校保健委員会 (富山県教育委員会主催 子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業), 氷見市立上庄小学校. 2010, 7, 16, 富山.
- 32) 関根道和：(講演)「Socioeconomic Inequalities in Physical and Mental Functioning of British, Finnish, and Japanese Civil Servants: Explanations from Psychosocial Stress at Work and Work-Life Balance」 社会心理要因から循環器疾患に至るプロセス解明のための社会・健康科学融合研究にかかる The Osaka Public Health Symposium: Social Determinants of Health in Japan 大阪大学大学院医学研究科「医科学修士 健康医療問題解決能力の涵養教育プログラム」(共催: University College London Department of Epidemiology and Public Health), 大阪大学, 2010, 7, 20, 大阪.
- 33) 関根道和：(講演)「子どもの睡眠習慣と健康」 富山市立月岡小学校 PTA 講演会, 2010, 10, 14, 富山.
- 34) 関根道和：(特別講演)「食育にもとづく親子の信頼形成と心身の健康づくり—内閣府食育推進室「親子のための食育読本」(2010 年 3 月発行)掲載論文を中心に—」(第 1 部). テーマ:「出生コホート研究からみた学校保健の課題と展望」, 第 67 回北陸学校保健学会, 2010, 11, 13, 金沢.
- 35) 関根道和：(特別講演)「格差社会と子どもの生活習慣・教育機会・健康—日本学術会議「学術の動向」(2010 年 4 月発行)掲載論文を中心に—」(第 2 部). テーマ:「出生コホート研究からみた学校保健の課題と展望」, 第 67 回北陸学校保健学会, 2010, 11, 13, 金沢.
- 36) 関根道和：(講演)「より良い生活習慣の育成を目指して—睡眠の大切さを知ろう—」 富山県中部厚生センター (青少年健康づくり支援事業), 滑川市立寺家小学校, 2010, 11, 25, 富山.
- 37) 関根道和：(講演)「富山スタディからみた子どもの睡眠習慣と健康」 平成 22 年度津幡町 PTA 大会記念講演 (津幡町家庭教育講演会), 津幡町 PTA 連絡協議会・津幡町教育委員会 (生涯教育課), 2010, 11, 7, 石川.
- 38) 関根道和：(講演)「生活習慣と健康」 礪波市立出町中学校 (富山県教育委員会主催 子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業), 2010, 12, 3, 富山.
- 39) 関根道和：(講演)「富山スタディからみた子供の睡眠習慣と健康—寝ぬ子は太る—」 文部科学省平成 22 年度「子どもの生活習慣づくり支援事業」, いといがわ子どもの生活リズム向上全国フォーラム北信越大会 in いといがわ, パネルディスカッション「正しい生活リズム」の定着から見えてくるもの—9 歳までと 9 歳から— (文部科学省・いといがわ子どもの生活リズム向上全国フォーラム実行委員会・新潟県教育委員会), 2010, 12, 5, 新潟.

- 40) 関根道和：(報告) インペリアル・カレッジ・ロンドン経営大学院 Distance Learning MBA Programme の経験：医師の生涯学習としての経営学修得による e-Learning. 医学教育, 41 : 435-438, 2010.
- 41) 関根道和：(依頼原稿)「食育にもとづく親子の信頼形成と心身の健康づくりー日本の出生コホート調査の結果からー」 親子のための食育読本, 28-35, 内閣府食育推進室, 東京, 2010.
- 42) 関根道和：(データ提供)「子どもの睡眠と生活習慣病ー寝ぬ子は太るー」子どもの生活リズムと発育・発達ー睡眠に焦点をあててー. 日本子ども資料年間 2010. 社会福祉法人恩師財団母子愛育会. 日本子ども家庭総合研究所. KTC 中央出版. P21, 東京, 2010.
- 43) 関根道和：(シンポジスト)「子どものライフスタイルと心身の発達ー格差社会の視点からみた睡眠問題と生活習慣病ー」 日本学術会議臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同 生活習慣病対策分科会／日本睡眠学会 共催シンポジウム「次世代へつなぐ健康なライフスタイルの確立にむけて」, 日本睡眠学会第 35 回定期学術集会, 2010, 7, 2, 名古屋.
- 44) Sekine M : (シンポジスト) The role of psycho-social stress in influencing poor sleep quality: evidence from Britain, Finland, and Japan. (In symposium entitled “Socio-cultural determinants of poor sleep and its health consequences: international comparisons using large scale surveys”). The 20th Congress of European Sleep Research Society, 2010, 9 Lisbon.
- 45) 関根道和：(学会報告) 第 48 回富山県小児保健学会「子どもの健康格差ー社会経済的環境の子どもへの健康影響に対する対策と支援ー」 富山大学医学会誌, 20 : 23-26, 2009.
- 46) 関根道和：(データ提供) 研修医新規採用数の都道府県間格差. NHK 新潟放送「新潟ニュース 610」, 2010, 7, 29.
- 47) 関根道和：(データ提供)「子どものヘルスプロモーション」 日本学術会議 健康生活科学委員会 子どもの健康分科会, 2010, 7, 12.
- 48) 関根道和：(シンポジスト)「社会経済的要因による脳卒中危険因子の格差」 シンポジウム「基礎と臨床の融合ー脳疾患の予防ー」, 第 8 回日本予防医学会学術総会, 2010, 12, 11, 石川.
- 49) 立瀬剛志：(講演)「働き盛り世代の健康をサポートするー社員食堂を通じた効果的なアプローチとは」 富山中部厚生センター, 2010, 3, 25, 富山.
- 50) 立瀬剛志：(講演)「メンタルヘルスー心の健康・職場ストレスの低減について」 滑川市民健康センター, 2010, 4, 2, 富山.
- 51) 立瀬剛志：(講演)「こころをすこやかに保つにはーストレス解消やサポートの仕方」 滑川市民健康センター, 2010, 6, 29, 富山.
- 52) 立瀬剛志：(講演)「疫学調査法ー職域調査の方法について」 滑川市民健康センター, 2010, 8, 12.
- 53) 立瀬剛志：(講演)「職場におけるメンタルヘルス対策ーアンケート調査から見る職員の健康度」 高岡市人事課, 2008, 8, 25, 富山.
- 54) 立瀬剛志：(講演)「富山型休養プログラムの展望と健康地域の創成」 富山大学コラボフェスタ 2010, 2010, 9, 3, 富山.
- 55) 立瀬剛志：(講演)「こころの健康と睡眠」 富山県中部厚生センター, 2010, 10, 22, 富山.
- 56) 立瀬剛志：(講演)「ストレス関連疾患と睡眠」 NPO 法人みどりの風, 2010, 12, 19, 富山.